



蓼高

フォトニュース

No

96

令和元年 10月28日発行



地域と共に知恵と勇気を育む 長野県蓼科高等学校 〒384-2305 長野県北佐久郡立科町大字芦田3652

記念すべき第50回ポプラ祭が行われました

記念すべき第50回ポプラ祭が、8月31日(土)、9月1日(日)の二日間行われました。昨年に続き合唱祭が行われ、クラスが力を合わせて歌いました。中心となった3年生の創意工夫で、大変盛り上がりました。一般公開にお越し頂いた499名もの来校者の皆様、ありがとうございました!

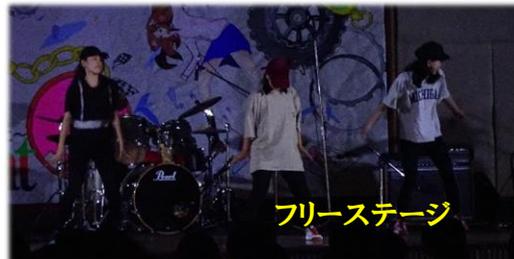


第50回ポプラ祭

クラス企画



今年、第50回を迎えました。来年から新たな歴史の始まりです。



町戦没者追悼式にて「平和宣言」

9月20日、立科町老人福祉センターにおいて、立科町主催の「令和元年度戦没者追悼式」が行われました。その中で本校2年生佐藤樹里さん(立科中出身)が、「平和宣言」を朗読しました。10月に行く沖縄への修学旅行を前に、戦争や平和に対する自分の想いを話しました。

「平和宣言」

私は戦争を初めて知った時、こんなに恐ろしい事は二度と起きて欲しくないと思うばかりでした。当時中学二年だった私は、戦争関連のニュースが流れると怖くなってテレビを消し、また戦争が始まってしまうのではないかと考え、戦後七十年の特集番組にも目を向けずに過ごしていました。

中学三年の時に戦争の学習をし、戦争の悲惨さ、どれだけたくさんの方が犠牲になったかなどを知りました。立科町に住んでいた人も例外ではありません。そして、戦争を起こさせないためには、目を背けるのではなく、向き合っていくのが今の私にできることなのではないかと思いました。

私たちは、来月沖縄に修学旅行に行きます。その事前学習で私は「ひめゆりの塔」を題材に調べました。沖縄戦では、私と同世代のたくさんの方の子達が、敵の砲撃や集団自決で命を落としました。私はこれを知って、今がどれほど平和な時代か、そして戦争は人の心を冷たく変えてしまうものだと改めて実感しました。

戦争のない平和な世界を築くには、私たちのような戦争を経験していない若い世代がしっかりと向き合っ、争いのない平和な世界を実現することが大切です。

私は、日本だけでなく世界各地の戦争もなくなりたいと思っています。戦争についてこれからもたくさん学び、どうしたら平和な世の中になるか考え、今の自分にできることをして、実現させたいです。

令和元年九月二十日

長野県蓼科高等学校 佐藤 樹里

書道部が町の依頼で看板を書きました！

立科町はこの夏、お年寄りなどの憩いの場として、民家を利用した「まちの茶の間 ただいま」をオープンしました。その入口につける看板の制作を、本校書道部が依頼されました。

書道部3年の関 晴美さん(北御牧中出身)が、木の板に直接書くので失敗の許されない中、何回も練習を重ね、緊張しながらも心を込めて書き上げました。

